# 防災減災学術連携委員会について

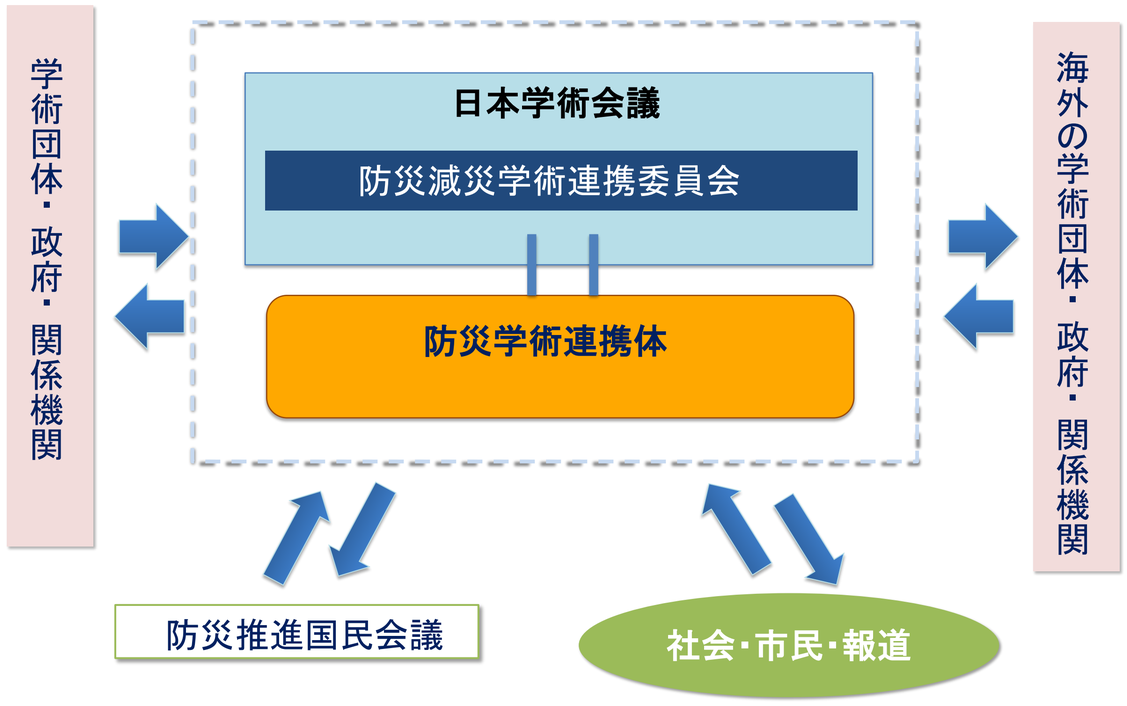
## 設置までの経緯

日本学術会議は、防災減災・災害復興に関わる学術団体との、平常時・緊急事態時における連携の在り方を検討するために、平成27年7月に当委員会を設置しました。平成26年2月に制定した「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」に則り、防災学術連携体と密接に連携して活動しています。

＜防災学術連携体＞東日本大震災を契機に、日本学術会議の土木工学・建築学委員会が幹事役となり「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」を平成23年5月に設立し、30学会連携を進めました。この取組みを発展させ、自然災害への防災減災・災害復興を対象に、当委員会と連携し、より広い分野の学会の参画を得て、平成28年1月に「防災学術連携体」を創設しました。（平成30年4月時点で次の56学会）

| | | |
|---|---|---|
| 安全工学会 | 日本看護系学会協議会 | 日本地震工学会 |
| 横断型基幹科学技術研究団体連合 | 日本機械学会 | 日本地すべり学会 |
| 環境システム計測制御学会 | 日本気象学会 | 日本自治体危機管理学会 |
| 空気調和・衛生工学会 | 日本救急医学会 | 日本社会学会 |
| 計測自動制御学会 | 日本計画行政学会 | 日本集団災害医学会 |
| こども環境学会 | 日本建築学会 | 日本造園学会 |
| 砂防学会 | 日本原子力学会 | 日本第四紀学会 |
| 石油学会 | 日本公衆衛生学会 | 日本地域経済学会 |
| ダム工学会 | 日本古生物学会 | 日本地球惑星科学連合 |
| 地盤工学会 | | 日本地形学連合 |
| 地域安全学会 | 日本学術会議 SCIENCE COUNCIL OF JAPAN | 日本地質学会 |
| 地理情報システム学会 | | 日本地図学会 |
| 土木学会 | | 日本地理学会 |
| 日本安全教育学会 | 日本コンクリート工学会 | 日本都市計画学会 |
| 日本応用地質学会 | 日本災害看護学会 | 日本水環境学会 |
| 日本海洋学会 | 日本災害情報学会 | 日本リモートセンシング学会 |
| 日本火災学会 | 日本災害復興学会 | 日本緑化工学会 |
| 日本火山学会 | 日本自然災害学会 | 日本ロボット学会 |
| 日本風工学会 | 日本森林学会 | 農業農村工学会 |
| 日本活断層学会 | 日本地震学会 | 廃棄物資源循環学会 |

### 防災減災・災害復興に関する学会のネットワーク



防災減災学術連携委員会と防災学術連携体の各学会の代表・関係者
（平成28年1月9日設立フォーラム終了後、日本学術会議講堂にて）

## 熊本地震への対応

熊本地震・緊急合同記者会見（8学会）　平成28年4月18日
熊本地震・緊急報告会（17学会発表）　5月 2日
熊本地震・三ヶ月報告会（24学会発表）　7月16日
熊本地震・一周年報告会（30学会発表）　平成29年4月15日

学会間・政府・自治体の情報共有と相互理解を進めることにより、熊本地震と災害への本質的な理解と総合的な対策を検討する機運が高まりました。また、多くの記事に引用される等、学術から正確な情報を発信する一助となりました。

熊本地震・一周年報告会　熊本県庁大会議室
（30学会発表/平成29年4月15日）

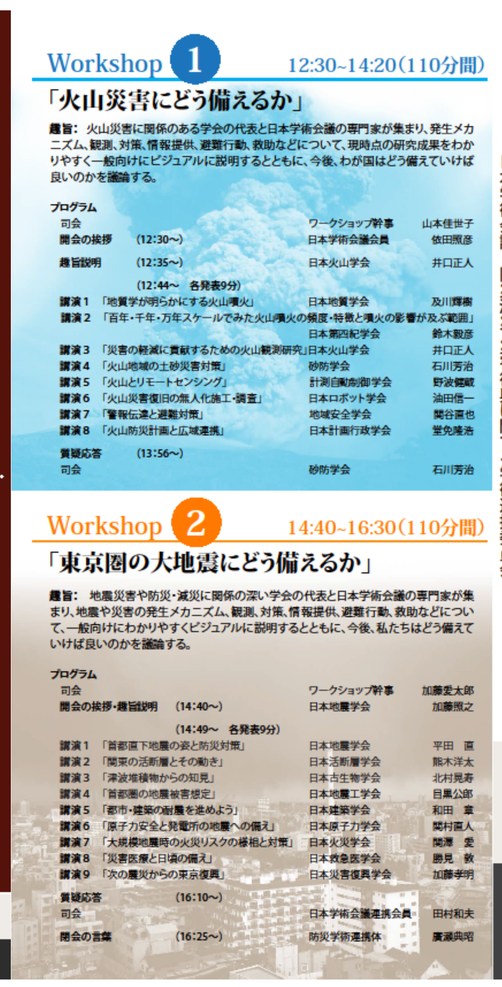
熊本県・阿蘇地方・合同視察研修会
（平成29年4月16日）

## 防災推進国民会議・防災こくたい

平成28年8月に防災こくたいが東京大学で開催されました。シンポジウム「52学会の結集による防災の挑戦」、ワークショップ「火山災害にどう備えるか」、「東京圏の大地震にどう備えるか」を実施し、多くの人々の関心を集めました。その後、毎年開催される防災こくたいに参加し、防災科学の最前線を市民に広く伝えと共に、関係機関との連携を図っています。

＜防災推進国民会議＞平成27年3月の国連防災世界会議の仙台枠組みを実現するために、知事会、市長会、経団連、日本医師会、全国PTA、民間放送連盟等の国内の主要な団体が集まり、内閣府が事務局となり、平成27年9月に防災推進国民会議を結成しました。学術界からは、日本学術会議、防災学術連携体が加盟しています。

第1回 防災学術連携シンポジウム
52学会の結集による防災への挑戦
- 熊本地震における取組み -
主催：防災学術連携体（52学会）
日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
趣旨：本シンポジウムでは、熊本地震における現象、被災状況等を解説するとともに、その取り組みから、防災に関わる先端的技術・研究の一部を、一般市民を対象として分かりやすくビジュアルに紹介する。また、日本学術会議や各学会が勢揃いして、防災学術連携体の紹介と学会連携で日本の防災力を高めていくことを宣言する。
プログラム
司会　防災学術連携体事務局長　塚田幸広（土木学会専務理事）
挨拶　日本学術会議会長　大西 隆（10:00～）
防災学術連携体代表幹事　和田 章
（日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員長）
防災学術連携体の概要紹介（10:06～）
防災学術連携体事務局長　米田 雅子（日本学術会議会員）
熊本地震における学会の取組み（10:16～ 発表 各6分）
○地震の観測と現象解明
日本地球惑星科学連合　高橋 幸弘
日本地震学会　山岡 耕春
日本活断層学会　宇根 寛
日本応用地質学会　井口 隆
○地震による被災状況と対策
日本建築学会　松村 秀一
地盤工学会　古屋 弘
日本地すべり学会　落合 博貴
砂防学会　石川芳治
日本火災学会　廣井 悠
○情報提供・避難
日本地震工学会　目黒 公郎
地域安全学会　石川 永子
地理情報システム学会　吉川 耕司
日本集団災害医学会　小井土 雄一
○震災後の対応から復旧・復興
廃棄物資源循環学会　森口 祐一
日本計画行政学会　山本 佳世子
防災・減災への防災学術連携体参加学会からのメッセージ（11:40～）
上記学会および、日本古生物学会、構幹連合、日本火山学会、これらの学会に加え、日本地質学会、日本第四紀学会、日本ロボット学会、日本原子力学会、日本救急医学会、日本災害復興学会などの代表が登壇の予定
日本学術会議の代表
防災学術連携体代表幹事　廣瀬典昭（土木学会前会長）
閉会の言葉（11:57～）
防災学術連携体副代表幹事　依田照彦（日本学術会議会員）
参加費：無　料（参加申込み不要）
発表資料は防災学術連携体ホームページに掲載　http://janet-dr.com/　※会場での資料配布はありません。
問合せ先：防災学術連携体　菅原健介（土木学会）sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443／小野口弘美　info@janet-dr.com
www.bosai-kokutai.jp/
第1回 防災推進国民会議
安田講堂回廊のポスターセッション「日本学術会議・防災学術連携体の活動」を展示予定
日時：平成28年8月28日（日）10時～12時
会場：東京大学 安田講堂 大会場



Workshop 1　12:30~14:20（110分間）
「火山災害にどう備えるか」
趣旨：火山災害に関係のある学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、発生メカニズム、観測、対策、情報提供、避難行動、救助などについて、現時点の研究成果をわかりやすく一般向けにビジュアルに説明するとともに、今後、わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。
プログラム
司会　ワークショップ幹事　山本佳世子
開会の挨拶（12:30~）　日本学術会議会員　依田照彦
趣旨説明（12:35~）　日本火山学会　井口正人
（12:44~ 各発表9分）
講演1「地質学が明らかにする火山噴火」　日本地質学会　及川輝樹
講演2「百年・千年・万年スケールでみた火山噴火の頻度・特徴と噴火の影響が及ぶ範囲」　日本第四紀学会　鈴木毅彦
講演3「災害の軽減に貢献するための火山観測研究」　日本火山学会　井口正人
講演4「火山地域の土砂災害対策」　砂防学会　石川芳治
講演5「火山とリモートセンシング」　計測自動制御学会　野波健蔵
講演6「火山災害復旧の無人化施工・調査」　日本ロボット学会　油田信一
講演7「警報伝達と避難対策」　地域安全学会　関谷直也
講演8「火山防災計画と広域連携」　日本計画行政学会　堂免隆治
質疑応答（13:56~）
司会　砂防学会　石川芳治
Workshop 2　14:40~16:30（110分間）
「東京圏の大地震にどう備えるか」
趣旨：地震災害や防災・減災に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、地震や災害の発生メカニズム、観測、対策、情報提供、避難行動、救助などについて、一般向けにわかりやすくビジュアルに説明するとともに、今後、私たちはどう備えていけば良いのかを議論する。
プログラム
司会　ワークショップ幹事　加藤愛太郎
開会の挨拶・趣旨説明（14:40~）　日本地震学会　加藤照之
（14:49~ 各発表9分）
講演1「首都直下地震の姿と防災対策」　日本地震学会　平田 直
講演2「関東の活断層とその動き」　日本活断層学会　熊木洋太
講演3「津波堆積物からの知見」　日本古生物学会　北村晃寿
講演4「首都圏の地震被害想定」　日本地震工学会　目黒公郎
講演5「都市・建築の耐震を進めよう」　日本建築学会　和田 章
講演6「原子力安全と発電所の地震への備え」　日本原子力学会　関村直人
講演7「大規模地震時の火災リスクの様相と対策」　日本火災学会　関澤 愛
講演8「災害医療と日頃の備え」　日本救急医学会　勝見 敦
講演9「次の震災からの東京復興」　日本災害復興学会　加藤孝明
質疑応答（16:10~）
司会　日本学術会議連携会員・防災学術連携体　田村和夫
閉会の言葉（16:25~）　防災学術連携体　廣瀬典昭
www.bosai-kokutai.jp/
第1回 防災推進国民会議
ワークショップ
日時：平成28年8月28日（日）
会場：東京大学本郷キャンパス 山上会館 2階 大会議室
主催：防災学術連携体（52学会）
日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
参加費：無　料（参加申込み不要）
発表資料は防災学術連携体ホームページに掲載
http://janet-dr.com/
※会場での資料配布はありません。
問合せ先：
防災学術連携体
菅原（土木学会）sugawara@jsce.or.jp
03-3355-3443
小野口 info@janet-dr.com

## 今後の活動について

- 地震災害だけでなく、台風や豪雨災害などに対しても、学会連携で対応していきます。
- 平常時から学会間の相互理解と連携を図ると共に、緊急事態時に学会間の緊密な連絡がとれるよう備えます。
- 政府・自治体・関係機関との連携を図り、防災に役立てると共に、緊急事態時に円滑な協力関係が結べるように備えます。
- 学術連携を図ることで、より総合的な視点をもった防災減災研究の向上発達をめざします。